

唐土訓蒙圖彙

州本
十一

和書門			
類	號	函	架
一八六三七	一八二	一三	一五
冊	架	冊	冊

內閣文庫	
和書	類
一八六三七	一五
冊	冊
一四	二四
函	架

內閣文庫	
番號	和 18637
冊數	15 (12)
函號	184 359



黄精 三月

苗生は高三尺
葉竹の如くありて
ろくろくおれず
地が白く
ひら子黍の如く
根生善の



和名ナゴルコ

黄芩 六月
生高一尺二寸又
獨莖の如くあり
葉細長くあり
對に六月に
開く根知母乃

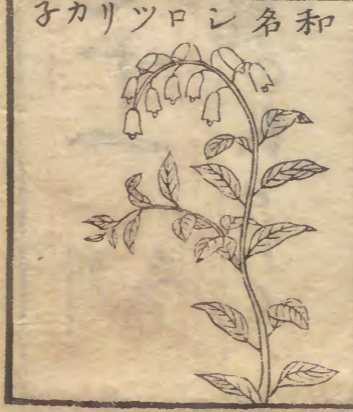


大野木

天麻 苗の
初て若草の
獨莖と抽
て直上高く
二三尺前葉の
かく改は
名をとりつ



柴胡 苗生
して甚香一莖
まばらして葉
竹に似たり又蒿に
似たり又冬に
似て短ものなり



黄耆 日 葉

根は似たり
若くは白く
小葉は似たり又葉
若くは似たり又葉
の長さ二三尺



人參 春苗

と生して三四月
花は細小
紫白色の
根人の形と神

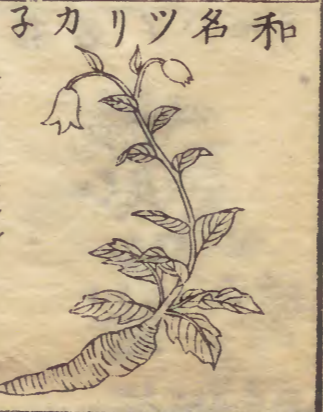


玄參 春

苗と生は莖
色は七月
花と開く
色は八月実と
落し黒色



沙参 苗生
一七二尺
崖壁の間に
あり葉枸杞に
似たり又
七月は花と開



丹参 苗生
一七高尺
莖幹方稜
葉荷の如く
て毛あり三
月花は白く



紫参 苗長
一七二尺
細葉槐に似
又羊蹄に似
もあり五月
開て白く又
の者もわ



教矢多 葉

羊蹄に似て根ハ
海艸に似て區

杏參 根ハ

小葉根に似たり

茸草 苗生

してち二三尺葉
根の如く七月迄

花と用く奈に
似たり子と根て

角子とをわり

知母 四月
まを心と用く
薺の花の如くハ
月実と似たり
根黄色 蒼痛
に似て 柔潤し



貝母 葉ハ

蓄養に似て七月
花と用く 老人白

色根貝子を
あつらひ如し故
に名つて救程

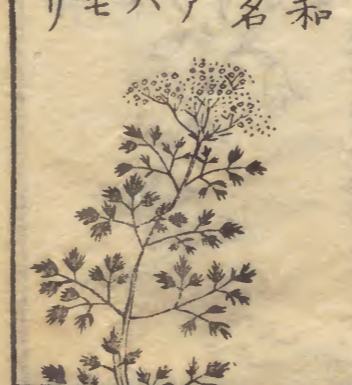
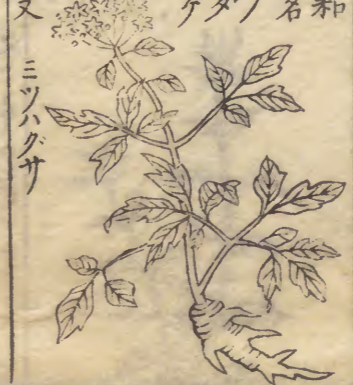
前胡 苗生

と生し青月白色
蒿に似たり初時

白芽長三四寸
甚香美し一程
柴胡と當堅

升麻 苗生

してち二三尺葉
葉麻に似て三三
月と用く 似たり
白と黄あり大
小二種あり小ハ
園中よくて上



徐長卿 苗

してち二三尺葉柳
に似て細く尖り小

花と用く 尖り
角兒と似たり根
細辛に似く香

氣も同し

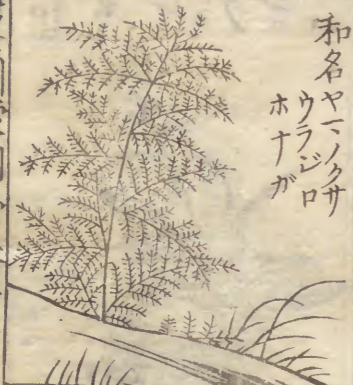
淫羊藿 葉ハ

杏に似て上ノ刺
わりて栗稗乃

四月白むといら
く又此のさかり
もわり

貫衆 苗生

して赤く葉大
蕨の如く 莖幹
三稜葉綠色小
鶏の翅に似たり



仙茅 葉

まをて芽の如く
軟くに復糖溜

一面に縦理を
三月花用て施
子の如く 実を
むとん

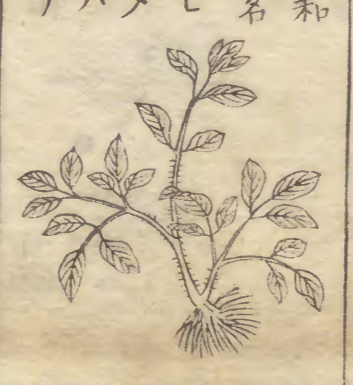
白頭翁 苗生

状白薔薇の如く
長して莖際より白

毛あり根のをさ
取に白茸わたり
白沢の老翁に似

白前 苗ハ

細辛に似て大
色白く 易し
亦葉の柳に似
たり 花は



白及 苗長

一尺許初秋
莖に似たり莖の
端に一臺と生し
夏むといらくさ
なり七月実と
結し白むとわり

白鮮 苗生

七高尺餘わり
四月は花と開て
淡紫色色小罇葉
似たり根ハ蔓
青々似たり皮の色
黄白なり

白薇 葉柳

葉類は六月
紅花と開く八月
実と結し根
黄色牛膝
類して短し

胡黄連 胡国

一生は令慶に
わり初生莖
似たり乾てハ楊
柳の枯枝に似り
心黒く外黄し

黄連 苗ハ

茶葉似て叢生し
一莖三葉と生し
冬も凋れぬ莖
色は所よりり
花葉の容りハ

素五口 葉ハ

数冬に似て大
色深むを葉
花といらく山崖
岩間より
よく魚毒とけむ

唐書本草卷之十一

和名レシラ



和名クシロ



和名クシロ



地榆 宿根

より生は高三四
尺葉狭細
鋸葉なり七月
花といらく

平地木 高尺

まゝに葉緑
子甚多
巖壑出處に
まゝて生し

茅藤果 葉ハ

竹のこ子と枝
葉下に生し
赤と丹砂乃
相雪ま
秘雨の甲に用く

金莖之花 一名

高良莖此小白金
莖の三色あり
花不得入仙家
と云ふなり

秋牡丹 葉

栽て秋花
初は深紅
淡むつかに
似たり葉ハ三岐
ありて生し

三七 山漆 春苗

と生し夏も三
四入葉葉似て
勁厚し秋葉む
といらく
三石曰故も三七
と云ふ

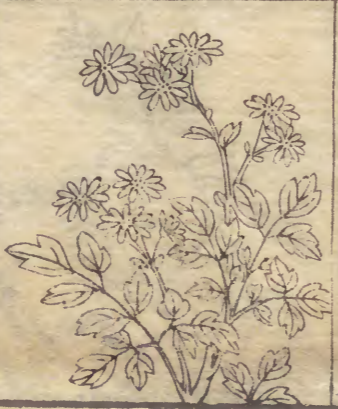
和名レカモ



和名タマ



和名フカ



萬年青 葉ハ

蕙苾ニ似テ短
ク厚シク冬モ
ヤククと朱葉
ありふる也一ツ

金星草 葉青

多く背陰の石上
に生レ葉長二三
尺又ニ至テ背
上ニ黄星點子
と生レ兩ノおろ
し銀色の一ツ

骨碎補 根大

木に生レ或ハ石
上多クハ背陰の
處ニありこれハ
名ハ孫養と云
折傷と主とい
ひ名ありし

石莖 莖葉

青くさくさ人々
り葉水柳乃
しく短く多クハ
河岸沙石の
上に生レ

崖櫻 苗の

高一丈己来四
季多ふわり其
根と用の

石長生 葉ハ

蕙ニ似又檜ニ似り
多ハ山陰石岩
の下に生レ
世に石長生とし
こもあつくりし
あつくり

トモヲ名和



景天 葉ハ

馬齒莧ニ似て大
沙草ニ似たり
昔より慎火草と
一物と云同ノ一
ら大ニ鑑せり

紫背金盤 苗の

高さ一尺をり
葉の背此紫
花ハ一根を
とにゆを

地錦草 苗葉

細弱して蔓
とありて地ニ遍
一莖赤く葉
青一中夏茂
盛に ツタヲモ地
錦と大別ナリ

當歸 春

苗と生一葉
緑して三瓣
あり七八月
とひらき芽
似りものなり

肉豆蔻 胡国

より出つ今嶺南
人家よりこれ
花實豆蔻ニ
似て圓く小く皮
紫ニ内の肉辛

白豆蔻 苗ハ

芭蕉ニ似
杜若ニ似て長八
九尺と光潔
冬夏潤すは
淡黄色実なり

ウソイケン名和



白芷 葉

相對此紫色二
個三指より
花白く微黄く
伏口入て実と
混ひる林の草

蓬莪 昂

莪木高二三尺
葉青白色長一
二尺葉荷上類
五月花わら
穂とわら根ハ生
姜のつくなり

京三稜 春苗

生ハ高三四尺
葉蒲葉に似
皆三稜わり五
六月花と開く
草に似たり



華撥 叢

生高三四尺葉
圓く細二三寸葉
の如く三月白
と開く七月子
造小棍ふま敷
り

鬱金 四月

苗と生一葉黄
く似く花白く
紅かり実を
根黄赤し
地とくし

補骨脂 昂破

故紙かり莖乃
高き三四尺葉
落荷に似て微
紫色色實ハ麻
あつく圓扁



雲令陵香 葉

麻の如くあまお
野に氣ハ麻
蕪の如く七月
花と開てま
かう

獨頭蘭 葉

苗と似て小く
白むといら亦
蘭の如く
赤脚長鬚の
蘭とてふ

茅香 三月

苗と生して大麥
に似たり五月白
花と開く又其
花とわり又実の
あつたき



木香 葉

羊蹄に似て長
大に花ハ菊の如
く又葉山の芽
乃とく此草と
角く者わり根の
形拵骨とく

杜若 江湖

生ハ葉の毒
に似て花赤色根
を乾してとつ
とんをらふ
あむなり

甘沙草 昂

香附子に田
産これわり葉
三稜に似て根ハ
附子の如く
毛多し



薄荷 葉

根似似て光長
冬とるて根死
すして去生は
夏秋茎葉と
より暴乾



葉在香 葉

葉似似て少く
六月より
豆と茎とらへ
形似る故
和ニアルハ葉ニ用テ
ヨロシカラス



高良薑 春苗

と生は葉葉葉
苗の如く大なり
高一二尺より
花は紫色色山
毒の



益智 葉

葉荷に似て高
丈餘其根の旁
一小枝と生は其
花葉ハ種と
子ハ葉の



縮沙蜜 苗

高良薑に似て
三四尺三月を
と用て根下に
あり五六月実
とる



甘松香 葉

生は葉細く
茅草に似り根
極て鮮み実を
八月採て湯浴
れと香



香薷 的

サ穂に似て葉更
み細く十月
より一ハハ香薷
と作



茉莉 花

春末より開て
香ありお白千
葉ののわり植
て能障と
更



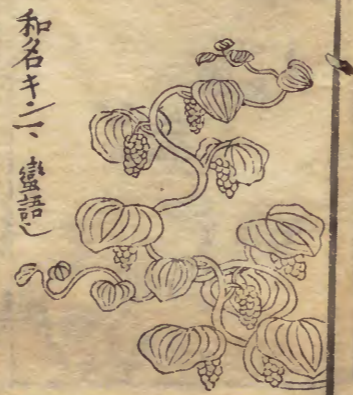
藁本 葉

白芷に似て香ハ
甚葉に似て細
五月白むと開く
七八月子と結ぶ
根紫色なり



荷葉 木

縁て生は其子
葉の 熟す
と長三三寸密
と藏く食は辛
く香



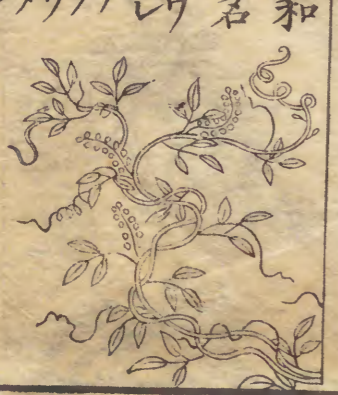
天門冬 蔓

生して一丈
ののり葉
茴香ののり
刺わり刺死
わり交花味



菴絲子 夏

苗と生は絲の
とく草木乃
うはいく六七
月子と結ぶ



和名キニ 蜜語



和名ルヘス



和名シウ

律草 葉ハ
莖麻のくくりに
して小く細柳
わりた黄白こ
子も麻子に類
一猪殃殃



赤地利 春夏
苗と生し蔓を
なり草木の上と
まきく茎赤く紫
まきく莖赤く紫
似り七月白む
といわくし葉の
下は柳あり



白薬 苗ハ
苦草に似て四月
うて赤莖長く
蒴蘆に似たり
六月白むと開き
八月子といふ



顔知子 蔓
生大木の上り
よる葉緑く三
角わり面かく
背後一七六月
実あり



紫草 春生
夏枯く蒴蘆に
似て紫く巴長丈
大者徑二三寸紫
莖真に似て根
皮もに紫く色こ



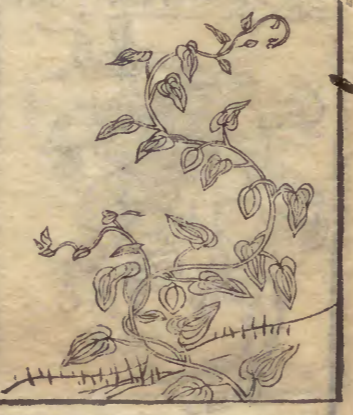
千里光 葉ハ
菊に似く枝長
幹圓くして青
背に毛あり秋
莖葉と生して
花あり黄色こ



使君子 三月
花と生して淡紅
く久して深紅
五辨あり六月
実と結ぶ大さ抱
子一匙と



馬兜鈴 苗生
して蔓の如く
葉山芋に似り
六月実と結ぶ
七月実と結ぶ
大さ終乃く



纏枝牡丹 枝字
うて倚附て生
む牡丹の態
度わりて甚小
小葉に纏りて
花開く細花と
て花を執り



天壽根 台茹
に生れ毎歳
土貢り
性涼くして
甚胸膈の煩
熱と治す



鉄線 鏡
州に生れ三月
根ととり用の
土人腫毒をと
消す



威靈仙 生り
と象草に比し
最光之葉柳に
似て厚く車輪の
うて花浅紫
式頭白く花と
分る



白瓜 蔓

生して葉多
く白毛わり夏
花さるゝなるか
その実赤とへ
て赤

何首烏 春苗

と生け山芋の如く
其蔓竹木に延て
夏秋黄白花と
同く子に稜わり
秋又之根と
大ハ拳の

菜菔薯

迎冬より多し
さつて利多し食
して味よく人
を養ふ

南瓜 實

西瓜の如く色赤
一葉も大蔓
くひある

金我鳥尾虫 瓜の

色淡黄少て形
我鳥の卵の如く
味も其美なり
童兒のむとを食ひ
顔と赤くものこ

西瓜 實

結ぶ圓く大と飽
の如く色も赤の
加し子金色又
黒



和名ヒヨドリジャウコ



和名ウキウキ

通草 木通

葉石葦に似
三葉相對に
花白く實赤
此の如くら
取券なり

眉兒豆

とう豆秋の末
りりり實多
し花紫なり
実と赤くさ
る

山豆根

豆根の如く葉
多く冬も潤み
八月より用ひ
一程小塊の如
かりわり

掛藤 蔓

生にして甜瓜
の如く細花七
月より實む
の下に在て拳の

蘿摩 藤

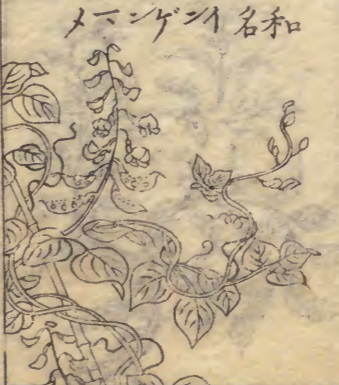
生して葉厚し
あれとつるを乳
汁あり子ハ瓢
形之葉許あり
一名羊角菜

石南藤 天台

山中に生け其
苗のびく木上
とまき四時迄
かまげ



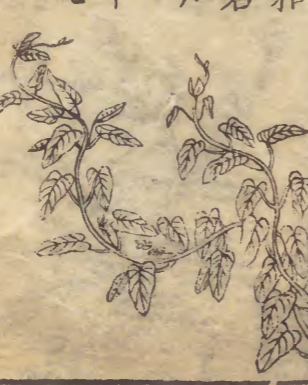
和名アケビ



和名メーデン



和名ルカ



和名モイカ



和名ウツ

獨用藤 施石

に生け四時葉
わりつたな
葉上に刺
ありつるし時



瓜藤 四時

葉ありつたな
らんに
時な

施刀加生

會春藤 台加

に生け苗蔓
木上つま
冬夏青し土
人葉とつりて
葉入るこ



血藤 葉ハ

蒲蘭の如
根ハ大指乃
加一其色黄
かり五月は



鉤藤 葉ハ

細長く節間
刺わり
鉤の

百稜藤 台加

に生け春苗を
生け蔓て木上
とまふつたな
葉つりて冬皮を
とりて薬入る



祢波藤 天台

山中に生け其苗
蔓て木上とゆ
と四時つりに
わり土人其葉
とつる



列節 苗葉

俱に丁公藤に
似つり花実の
九月つり
とつか



洛芙蓉 籬垣

蔓延て七月
の比蕃花なり
葉圓て光潤あり
灼熱合へ
實つる葉
物とつる



石合草 其苗
木とまふつ四時
葉ありむなし
その葉乃味其
とつる



百部 春苗

と生一高香葉
うてゆつる
二入つる実と
ひつる



落鳳木 蔓

生て木とゆ
と葉形茶に
似つり花實
四月つり
とつか



和名キチカシク

我抱山林

の中石に附て
生一蔓とあり
葉大豆に似く
根ハ菜服一
似り大小わり



羊乳根 蔓生
あり長さ二三尺
茎葉多ありて三葉
あり茎と根は白
汁出つ根ハ蘿蔔
のくくうて皴
又丸くありて
根と俯く



木鼈子 春苗

と生一蔓とあり
四月黄びと生
六月實と結ぶ
捨萎に似て大
其核鼈子似
ゆへ一名つこ



大圭月 苗高
三尺より 莖石
竹ノ類一葉圓
長色赤紫
馬蔘に似り
根黄色かり

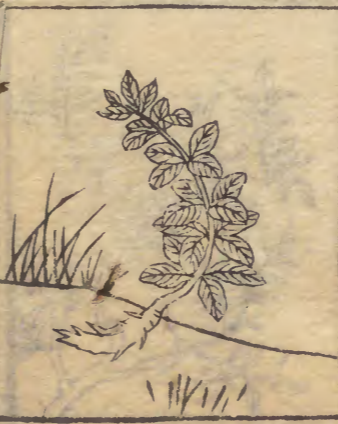


千歳薬 葉ハ

葡萄うてその
莖白汁ありて
斬り八月と
いらさ七月実
とむす



小圭月 三月
花と生れそ
月葉とより福
州の土人野
つさ碎て瘡
を治れ



麻蒿

苗と生一夏長
して一尺より稍
上に葉あり
実と結て百合
瓣の



此紫苑 苗と
生一其葉三四
相つたり五六月
のうちに葉紫白
花とけり根と
絡て



地黄 二月

葉と生一七地
布て車前
似り葉上
離文あり花
池麻花に似て
此葉あり



雞腿兒 苗の
高七八寸細く
鋸齒硬厚く背
白一黄と兩
根ハ指の太り
一名ハ翻白草



葫蘆巴 春苗

と生一夏子と結
秋に至てこれ
此種海南諸
番入出



九牛脚 二月
苗生一独
高一尺葉艾
似て圓く長
背に白毛あり
面青



陸

春苗

と抽て莖子節
あり節の同枝
葉と生に大イ
水芥と似り春
夏葉と似り



水英

池沢

及の河海を
生に海人喫て
牛蘢と人蜀郡
の人其花と採
て面薬と合は



白草

葉ハ

沢深と似て小
其形鷲を飛了
似り根ハ慈姑
乃々小園根
あり水と似



江草

水

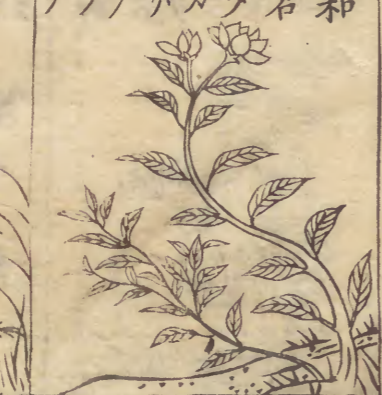
の地は水以
草に似て三角
織て席と似
薩加七島ヨリ出
故ニ七島ト稱フ
名ツク



鯉腸

昂

蓮子草と下濕の
地にこれり二種
あり葉柳に似
光澤ありて馬
齒草と似二種ハ
桔梗と似り



陰地

葉ハ

主月苔高に似
莖此紫色花小
穂と似り微
黄細幸に似り



穀精草

穀田

の中に生に葉
幹と青月一
根花並に白色
一名戴星草
と云ハその葉細
く花白く圓
星と似り故



曲節草

四月

苗と生に莖
節あり七八月
花と似り子と結
と抽り子と結



馬鞭草

春苗

と生て根牙に
似り又穀母
類して莖圓
寸三二尺三四穂
と抽り子と結



葶藶

苗と

生に葉の高六
寸三月葉と
開く子角にて
扁小黍粒の
起夏の後採り



海金沙

初生

一七小株と似
寸一二尺七月
採て日中
紙と似り
其砂と紙上



蛇含

土石

の上或下濕の
地生に莖五
又七葉あり
葉細く花黄
と佳り



青柳子 苗長

一三四尺葉潤
柳に似たり莖ハ
青紅色高々似
たり七月花を
用く上お下白
いざわり

敗將苗 葉取

生うて花黄色
根紫色紫胡
似て陳敗豆醬
の氣わろ故イ
名は 自りラ
上コレト云

續斷 其葉

葉は似て莖方
葉白く莖は
わろいらく根ハ
大藟のこ

火炭母 莖赤

一七葉に細く
葉多葉は似て端
尖る夏白むと
ひらた秋實ハ
わりて二豆のと

海根 山谷

一七葉に似て根
サ接葉は似く小

草綿 此草

秋花とひく實の皮
裂く綿と出れ毛を
取てつひさそそ布に
此草は胡桓武天皇の
延暦十八年三河国
史前入漂着る私中に
此実あり識して諸國
頗種しむその後種
再ひて今よ



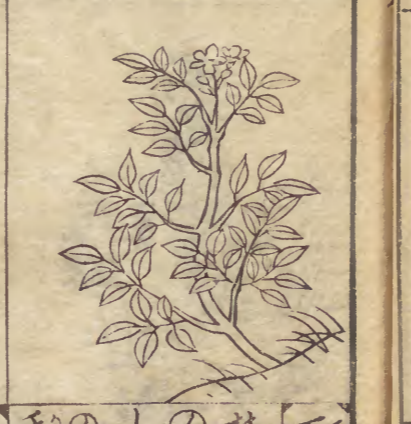
龍葵 葉
圓く花白く実
牛李子乃如し
生は多く熟して
黒く煮て食
へ



王不留行 葉ハ
尖小一七匙
のこ又攪葉
の似たりあり四
月花といはく
は葉も莖も陰
て生れ



筆頭菜 春初
花と生れ其形
筆の如く一七
葉は似たりあり
接續草の未
葉のぶらりあり
いつ筆なり



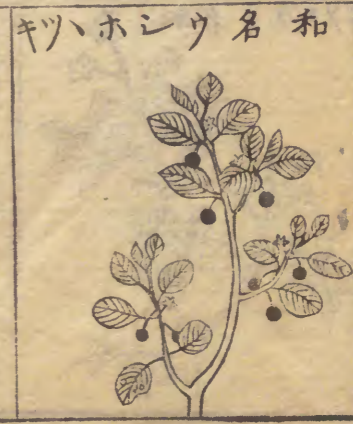
天名精 夏秋
枝と抽て薄荷
のこつた葉白
して葉サ松菜
の如く一七小
香氣蘭ふあり



大明子 苗生
一七高三四尺
六七月花と開
黄白色其子青
绿豆の如く
鋭なり



連翹 苗生
一七葉長楡葉
の如く莖赤く高
三四尺なり花
黄に秋実の
又一種莖生あり
抱あり



和名 ヲシロ



和名 キツ



和名 シクツ



和名 コバタフヤ



和名 マシキ



和名 シクツ

山鐵蕉葉

蕨のこゝ根々
そこののこゝ
狗脊サ微蕨の
一種なり

霸王樹 その

飛胡瓦壓の如
し色深ま
して判あ
まうくむ

肉菘蓉 西巻

より出つ形菘根
のふと 鱧甲
あり列 漢陽
これ同 漢陽
人誤テ西朝王樹
とスルナカレ

和名サニホテ イロヘル



ツテソサク名和



丁香加苗 蔓生

あつて 蔓生
この葉は刺多
葉、牽牛葉より
むも似たり子旅
の小さい

鹹草 扶桑

あゝの東に女園あり
は京と産は葉邪
蒿に似て氣香く
味鹹し 女人これを
かりし 今八丈の傍
はわろアレタと云
此草を以て之を
写は八丈の傍の草

黄花菜 形ハ

沈菜に似てま
るまといふと花を
とかりく聖人
これとかり
和ノ七種に用る
タヒラコカク



